



News Release

(※当資料は、重工業研究会、農政クラブ、農林記者会にて資料配布をさせていただいております。)

べと病・疫病に高い防除効果を発揮

殺菌剤「ジャストフィット®フロアブル」、4月24日より販売開始

東京、2013年4月23日ーバイエル クロップサイエンス株式会社(本社:東京、代表取締役社長:ギャビンマーチャント、以下バイエル クロップサイエンス)とクミアイ化学工業株式会社(本社:東京、代表取締役社長:石原英助、以下クミアイ化学工業)は、べと病菌や疫病菌によって引き起こされる病害に対し優れた防除効果を発揮する殺菌剤「ジャストフィット®フロアブル」の販売を4月24日より開始します。

ジャストフィット®フロアブルは、バイエル クロップサイエンスが開発した有効成分「フルオピコリド」、クミアイ化学工業とイハラケミカル工業が共同で発明した有効成分「ベンチアバリカルブイソプロピル」の混合剤です。べと病菌や疫病菌に優れた効果を示すとともに、作用機作が異なる2つの有効成分により耐性菌発達のリスクを抑え、既存の薬剤耐性菌にも効果を発揮します。

「ジャストフィット®フロアブル」の特長

- べと病菌や疫病菌に対する優れた防除効果
- 耐性菌発達のリスクが小さく、既存の薬剤耐性菌にも効果を発揮
- 優れた浸達性と浸透移行性
- 長い残効性と優れた耐雨性
- 作物・人畜・有用生物などに対する優れた安全性

【製品概要】

製品名: ジャストフィット®フロアブル

登録番号: 第 23101 号

成分: フルオピコリド・・・33.0%、ベンチアバリカルブイソプロピル・・・12.0%

毒性: 普通物(「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限: 3年

荷姿: 100ML × 30本

販売ルート: バイエル クロップサイエンス株式会社から、商系ルートを通じて販売
クマイ化学工業株式会社から、系統ルートを通じて販売

販売開始日: 2013年4月24日

適用病害: べと病:きゅうり、はくさい、たまねぎ、ぶどう

疫病:トマト、ミニトマト



ジャストフィット®フロアブル(100ML)

(バイエル クロップサイエンス)

バイエル クロップサイエンス株式会社

2013年4月23日、東京

Bayer CropScience K.K. (JPN-BCS-2013- 0108)

この件に関するお問い合わせ先:

バイエル クロップサイエンス広報

荻上 敬子(おぎょうえ けいこ)

TEL: 03-6266-7573 FAX: 03-5219-9705

クミアイ化学工業株式会社

総務部 総務課

中野 健史(なかの たけし)

TEL: 03-3822-5036 FAX:03-3823-6830

バイエル クロップサイエンス社について

バイエル クロップサイエンス株式会社は、農薬、種子、エンバイロサイエンス(防疫用薬剤)の分野で世界をリードする、バイエル クロップサイエンス社(ドイツ)の事業グループに属し、日本における農薬関連事業を担っています。日本では1941年に事業を開始、現在は農薬事業とエンバイロサイエンス事業(緑化製品と生活環境製品)を中心に、グローバル規模の研究開発体制を活かした製品開発、製造・販売を行っています。同社は日本のバイエルグループの一員として「よりよい暮らしのためのサイエンス」というミッションのもと「農業の未来を推進する」を掲げ、日本農業の持続可能な発展に向けた革新的な製品とソリューションを提供しています。2012年度の売上高は307億6千8百万円、従業員は約300名です。詳細はwww.bayercropscience.co.jpをご参照ください。

クミアイ化学工業について

クミアイ化学工業株式会社は、創立当初より安全で環境負荷の少ない農薬の開発に傾注し、国産第1号農薬の開発・製品化以来、日本国内のみならず、世界各地で自社開発品を中心とした製品の普及を進めております。また、当社の企業理念の1つである「いのちと自然」を守り育てることを基本に、より一層国内外の農業情勢に目を向けて、世界規模での農作物の生産性向上に、農薬の製造販売という事業活動を通じて貢献できるよう取り組んでおります。

詳細は当社ホームページ(<http://www.kumiai-chem.co.jp>)をご覧ください。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。